

学校名	一之江第二小学校	対象学年と人数	全校児童 842 名
活動名	一之江二小グリーンプラン		
指導者	学内指導者：環境教育担当 眞野優子 傅野昌彦 他教職員全員 学外支援者：公益財団法人日本環境協会 高田直子 吉野榮一 岡本正義 善財裕美 西寿子 東京ガス(株)学校教育情報センター 4 名		

目標

「みどりをふやす二小の子 むだにしない二小の子 リサイクルする二小の子」

- ・植栽活動を通して緑化や美化の推進に対する意識を高める。
- ・ごみ問題や地球温暖化などの環境問題に興味を持ち、改善していこうとする意識を高める。
- ・リサイクル活動などを通して自分に何ができるか考え、環境保全のために行動していく態度を育てる。

成果

① 環境集会（5月31日）

環境委員会による空き缶リサイクルについての発表と担当教員より「グリーンプラン推進校」についての説明、合言葉の提案。

- ・リサイクルの仕組みについて学ぶとともに、こどもエコクラブの会員としての意識が持てた。

② 環境教育プログラム

出前授業 4 年「あなたはどうやってごみをへらしますか？」（6月26日、28日）

出前授業 6 年「エコクッキング」（7月2日、3日）

- ・地球温暖化やごみ問題、身近なところからできる省エネ・省資源等について学ぶことができた。

③ 50 周年記念行事に向けた植栽活動（2 学期）

- ・5 年生や環境委員会は毎年校内や地域の花壇に植栽活動を行っているが、今年度は 50 周年行事の一環として 1～3 年生が一人一鉢の植栽活動に取り組んだ。11 月の式典にはひまわりやコスモスの花を飾ることができた。活動を通し、植物に興味を持ち、草花を大切にしようという意識が高まった。

④ 打ち水活動（2 学期初め 2 週間）

- ・環境委員会が、昼休みの校庭遊びを涼しくするために給食準備時間に雨水タンクや防災井戸の水を使ってしょうろで校庭に水まきを実施。今までアルミ缶回収と花壇への水やりが主な仕事だったが、5 月の環境集会や 9 月の打ち水活動を通して環境問題への意識が広がり、活動が主体的になった。

感想・課題等

- ・当初、夏の校内の暑さの軽減にグリーンカーテンの取り組みも考えていたが、適当な場所が見つからず時機を逸してしまった。プランターの使用なども検討し、来年度以降ぜひ実施してみたい。
- ・環境をよくする取り組みについては、知識としては頭に入っているが、なかなか実践にならない実態がある。今後も出前授業や体験的な学習の機会を積極的に作り、実践力を身に付けた児童に育てていきたい。
- ・植物の生育には自然条件が大きく影響する。今回の植栽活動でも学校行事などの関係で適当な時期に適切な世話ができないことがあり、教職員のみで取り組んでいくことの難しさを感じた。学校応援団の方など外部の支援もお願いできるとよいと思った。

